



中学部 国語科 一題材の実践事例

題材名：『宝探し』で、宝箱の鍵がある場所を伝えたり、指示を聞き取ったりして、宝のピースを集め、宝パズルを完成させよう

授業者：阿南 蘭

学習指導要領の段階と内容

小学部3段階 A 聞くこと・話すこと	知・技	ア(ア)身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くこと。
	思・判・表	ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり考えたりすること。
	学び	言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。

題材目標

知・技	『宝探し』で、鍵の在りかの伝え方を考える時、位置を伝えるためにイメージする順番がわかり、部屋、物、位置の順に言葉カードを貼る
思・判・表	鍵の在りかを示す写真を見て相手に伝える時、鍵の種類と位置を特定するために必要な視点と言葉の順番を考え、伝え方を判断し、部屋、物、位置、鍵の色(形)、形(色)の順で話したり、相手からの質問に正しく答えたりする
学び	鍵の位置と種類を繰り返し正しい順番や内容で伝えたり、相手が聞き返した視点について正しく答えたりする

教材と仕組み

教材名：『宝探し』

・宝箱の鍵の在りかを友だちに伝えたり、鍵の在りかを聞き取ったりして鍵を探し出す。正しい場所、位置から鍵を取ってきた場合のみ、鍵穴にぴったりはまる仕組み

・話し手、聞き手が協力して、宝箱に入っているそれぞれが好きなイラストや写真のピースをすべて集めると、宝パズルが完成する

宝箱の鍵の在りかを伝える

友だちが鍵を取りに行く

宝箱を開けて宝をもらう



観点別評価

知・技	鍵の在りかを示す写真を見て、部屋、物、位置の順に言葉カードを貼ることができた。
思・判・表	中学部マップや鍵の在りかを示す写真を見て、部屋、物、位置、鍵の色(形)と形(色)の順で話したり、相手から「机のどこですか」と問われて「机の下にあります」などと、適切に答えたりすることができた。
学び	写真に応じて、正しい順番や内容で話したり、聞き返しに応じたりして、鍵の在りかを伝えるか出しに繰り返し取り組むことができた。

関連する授業づくりの手順

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

R研で毎時間の授業の評価・改善

ポイント 鍵の在りかを特定するための話す順番を理解するための**教具の工夫!!**
『必要な知識の視覚化』

写真を見て、 場所、物、鍵の順に写真やイラストを重ねて伝え方をイメージし、 話す順に言葉カードを貼る

大きなところから順番にはると、鍵がどこにあるかわかるね

ポイント 視覚的な手がかりを段階的に減らし、自分で伝え方を考えられるようになるための**指導の計画の工夫!!**

写真・イラスト + 言葉カード 言葉カード なし

考察

- 1枚の写真で見たものを、「場所」「物」「位置」のように、順番で重ねて話すだけでなく、「棚がプレイルームにあって…」などと教師が異なる順序で写真やイラストを重ねながら話すことで、「場所」「物」「位置」のそれぞれの言葉の関係の理解が深まったと考える。
- 視覚的な手がかりである教具を操作するという活動から取り組み、生徒の到達状況に応じて支援を減らしていくことで、思考の過程を自分の頭の中で整理できるようになり、相手にわかりやすく話して伝えることができるようになったと考える。